

きんたろう倶楽部通信

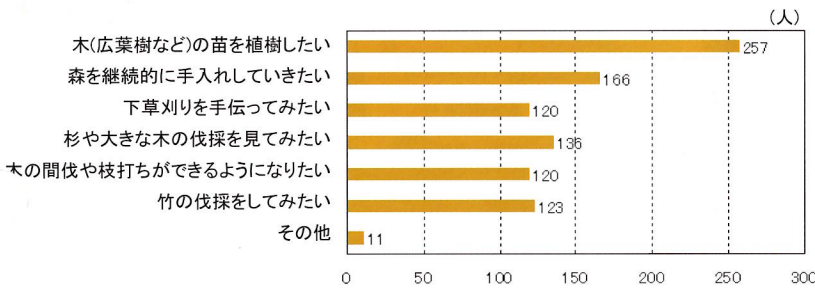
4号

2006年4月23日
きんたろう倶楽部結成
2007年5月の会員数: 790名

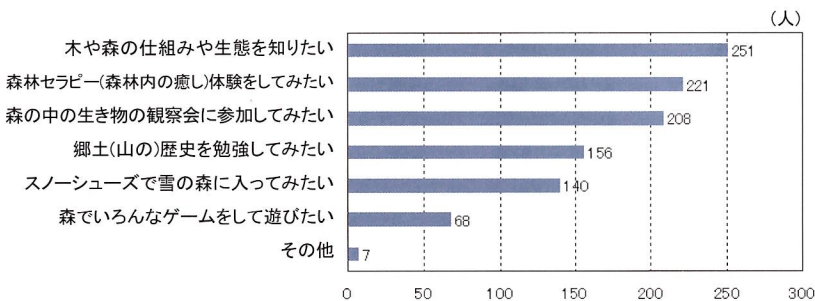
人びとが暮らすために必要な森づくり。子どもたちがのびのび育つために必要な森づくり。
それにはあなたの力が必要です。自然の恵み豊かな富山の里山を、いっしょに創りませんか。

2007年6月8日発行
きんたろう倶楽部事務局
〒930-0151 富山市古沢254番地
富山市ファミリーパーク内
TEL&FAX: 076-434-1316
URL: <http://kintaroclub.net>
E-mail: info@kintaroclub.net

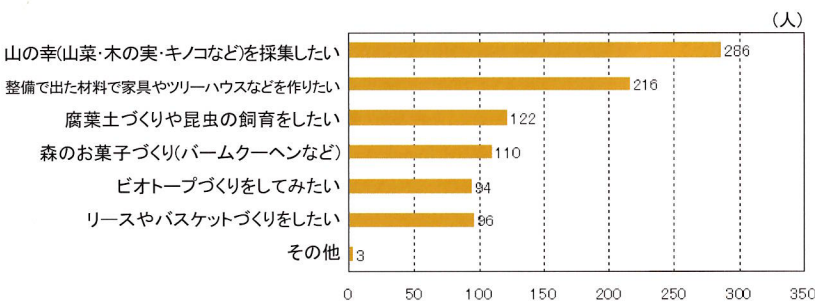
体験してみたいことはありますか？



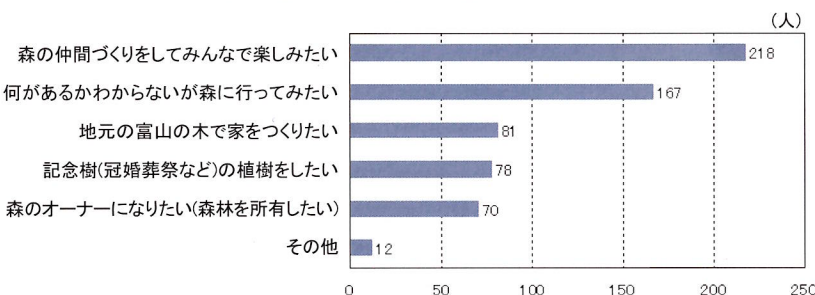
森や木のこともっと知りたい



木や森の幸で味わいたい・作りたい



その他にやりたいこと



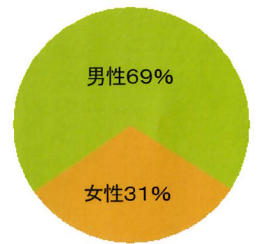
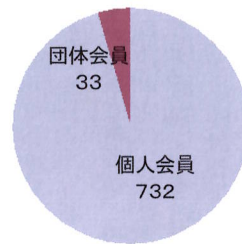
アンケートのまとめ

▼きんたろう倶楽部が発足して一年が経過しました。会員数も四月で個人732名、団体33となりました。会員みんなが積極的に活動に関わるとしても大きな力になるはず。▼きんたろう倶楽部では入会された時に、会員みなさんが倶楽部の活動の中でどのようなことに関わりたいのか、何がしたいのかといったアンケートに答えていただきました。▼そのまとめをご紹介します。

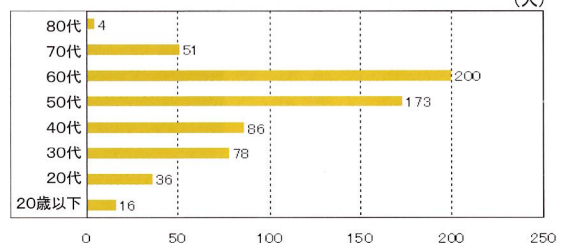
そして今一度、これまでの活動を通して、ほんとうにやりたいことができるのか、これからどのような活動にしていきたいのか、どのような関わり方がしたいのかを考えてみましょう。今年一月に実施した「会長を囲んで、これからの活動について話し合う」で出たコメントも紹介しておきますので参考にされて、同封のアンケート用紙にお答えください。それぞれに出来ることを結集して、富山の森を誇りある市民の森にしてゆきましょう。

会員数765会員
2007年4月20日現在

個人会員の男女比



年齢別会員数



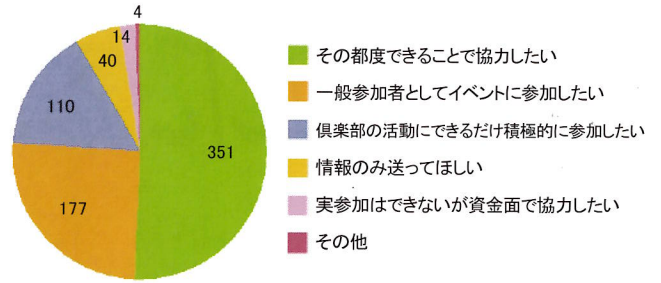
| | |
|--------------------------------------|------|
| 普段の生活の中で緑(庭木・観葉植物など)の手入れをしたことがありますか？ | 475名 |
| 森林の整備をしたことがありますか？ | 227名 |



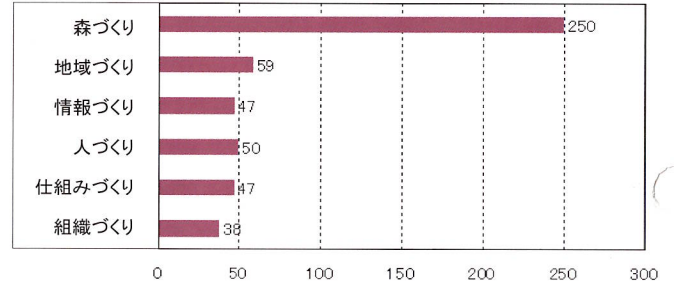
フリートーク座談会

平成19年1月17日(水)
18:30~21:00
富山市ファミリーパーク
自然体験センターホール
参加者43名

あなたは会への参加をどんな形で希望されますか？



倶楽部では色々な活動をチームに分けて行います。あなたはどの活動にいちばん興味がありますか？



「2007年の活動に向けてみんなで話し合おう」との呼びかけに43名の会員のみなさんが集まり、西頭会長を囲んで活発な意見交換がされました。意見の要約をご紹介します。

森づくりについて

- ▼日曜日は他の行事と重なることが多いことや、退職した人たちの出やすい平日の作業もあってよいのではないかと。
- ▼森の整備だけで終わるのでなく、伐採した木の利用や、人が集える場所づくりなど、楽しく形の見えることにつなげていくことが大切ではないかと。たとえば、整備で出た材料を使って燃料の木質ペレットを作るとか、竹の有

- 森づくり** 各地域での活動拠点づくり(森の実践活動の企画や実践)
- 地域づくり** 各地域の既存事業の調査及び研究、事業開発(山と街の交流と活性化のためのネットワークづくりなど)
- 情報づくり** ホームページの作成と機関誌の発行(広報、HP、諸団体とのネットワークづくりなど)
- 人づくり** 各作業部会と連携しリーダーの発掘と技術研修(森づくり・人づくりのリーダー育成、関心を持つ人々の発掘や育成)
- 仕組みづくり** 森と街の既存事業の調査及び研究、事業開発(山と都市をつなぐビジネスモデルの構築など)
- 組織づくり** 会員の登録増員、類似団体とのネットワークの構築(事業計画、会のあり方、会則など)

効活用など物づくりをもっと進めていけるといい。

- ▼荒れているのでクマが出る。里山でがんばっている人が困っているような時に活動してもらえるとありがたい。
- ▼大勢の人が森に入ると自然を破壊する。きんたろう倶楽部は自然破壊を絶対に起こさないようにしなければ。

組織づくりについて

- ▼何の目的で集まっているのかはつきりして、しっかりした組織をつくる必要がある。
- ▼行政だよりでなく、自立をしていく必要がある。

人づくりについて

- ▼郵送料がかかるのであれば、会員がまとまっている地区などは配達が可能ではないかと。
- ▼書き損じハガキを集めて送料の資金にするのもいい。

地域づくりについて

- ▼単発のイベントで終わるのでなく、それぞれの活動地域の拠点づくりをし、地元のひとつひとつの協働を継続していけるような仕組みをつくっていかなければ。

経費について

- ▼補助金は減額されるが、市がおこなってきた事業の一部をきんたろう倶楽部に移管し、委託費として支払うことも検討している。

森林政策課から

- ▼森づくり事業をイベント的なものでなく、継続事業としてそれぞれの拠点での市民の活動主体にシフトしていく。

西頭会長

- ▼どう持続させるか十分に考える必要がある。
- ▼そのためには活動するための

▼動植物や自然についての講座をもっと開いてほしい。里山学校を設立したらどうだろう。

- ▼活動日には作業だけに終わらず、みんなのコミュニケーションの場をつくるのが参加意欲につながる。
- ▼もっと参加の呼びかけに力を入れる。熱心に誘われると人は来る。

目の前で人が倒れたら、どうしますか？

開発 兼代

- ▼日本赤十字社富山県支部の松井さんの指導のもと、心肺蘇生法と応急手当の必要性と実技が



救急法講習会

平成19年2月11日(日)
10:00~12:15
婦中町ファボーレ第3研修室
参加者22名
講師：日本赤十字社富山県支部
事業推進係長 松井武浩氏

拠点をつくること、若い世代の参加がほしい。学生の参加も考えて、自然体験教育をさせていくことを考えてはどうだろう。

山本副会長

- ▼地域、世代、伐採から利用へと活動をつないでいくことが必要。



森がないと、
ほくたち困ります。

私たちは
森づくりを応援します。

越中から、日本の中心から情報発信。

北日本新聞

ウィズガス

ガスがあるから、暮らし自由自在。

GAS Energy Communication COMPANY 日本海ガス 0120-18-1107 http://www.ngas.co.jp

草刈機 チェーンソー 専門店
株式会社 興北産業

〒939-8253 富山市新保91
TEL 076-429-7860 FAX 076-429-7863



デジタル印刷&マルチメディア

とうざわ印刷工業(株)

本社 〒930-0008 富山市神通本町1丁目8-13 TEL(076)432-3267(代)

行われ、その後、実際に心肺蘇生法によって元気になられ、きんたろう倶楽部で活躍している小杉さんの生の声も聞かせてもらいました。▼毎日の生活の中で思わぬ事故や病気が起こり、意識がないまま呼吸や心拍が停止した状態になり、救急隊が現場に到着する間の数分、この数分が生死の分かれ目になる時もあると言われ、とっさの手当てがいかに大切で尊い生命を救うことが出来るか、あらためて教えられました。▼22名の参加者は真剣に取り組み「定期的にまた研修を」と、熱意のある声も聞かれました。



早春の森林観察会

平成19年2月25日(日)

9:30~11:30

大瀬谷森林文化の郷

(婦中町大瀬谷・西谷地内)

参加者32名

講師: 森林インストラクター

若井直美氏

参加者のプチアンケートから

- ▼ 蛍の里、カエルの卵、森林の育成に間伐の必要性を強く感じた。
- ▼ 手入れされた森林が美しかった。人と自然の共存が素晴らしい。
- ▼ 間伐された林は美しい。
- ▼ 間伐の様子とその必要性について学んだ。
- ▼ 百年杉を大切に。ムダ使いしないで。
- ▼ 百年杉!ぜひ見に行きましょう!
- ▼ 田の左側の林道や、下り道左の田や広葉樹など、山の風景にひきつけられました。
- ▼ スミレ草発見!カワイイ。またゆつくり楽しみたい!
- ▼ 自然を好きな人がたくさんいて楽しかった。
- ▼ 大瀬谷地区とはどんなところ?
- ▼ ほたるの里とはどんなところかを見たくてきました。
- ▼ 6月蛍の川を見にきたい。5月に竹の子をとりにきたい。
- ▼ ホタルの話が良かった。
- ▼ 昨年何十年ぶりにホタルを見てとてもうれしかったので、今年はこの大瀬谷で孫にも見せてやりたいです。インストラクターの若井さん、自然の恵みを教えていただき有難うございました。
- ▼ 竹と杉が共存しているのに驚いた。
- ▼ 土の色の話。赤い色は、鉄の酸化。日本は海の中だったのだとあらためて感じた。あらためて土の大切さを知った。
- ▼ 虹色の土と象牙
- ▼ 大瀬谷の虹色の土が1センチできるまで100年、自然の大切さを
- ▼ 感じました。
- ▼ ヤマアカガエルの卵がたくさんあるのにびっくりしました。
- ▼ カエルの卵(オタマジャクシ)があのような形状になっているのにびっくりしました。今日は天気がよく大変楽しかったです。
- ▼ 田んぼで鳴き声!カエルと柵の4番
- ▼ 田のカエルの卵が氷の中にあつて、春と思えば冬という季節の不安定さがかわいそうでした。
- ▼ おたまじゃくし、子供のころに見かけて以来60年ぶりのおたまじゃくしでした。
- ▼ 付近のコース案内の看板を設置したらよいのでは?
- ▼ 峰にベンチが設置してあり休憩に最適でした。
- ▼ 大変勉強になりました。

▼森林整備の過程で発生する竹木を有効利用することは、今後私たちが活動する中で欠かせない大きな課題の一つである。▼その利用方法を挙げてみると、建築材(間伐材)、燃料用(薪・炭)、竹炭(脱臭や消臭・マイナスイオンや清浄・土壌改良・マイナスイオンやミネラルの活用)、茸栽培(おが粉・楢木)、製紙原料、繊維原料(竹)などがあるが、細かく粉碎するなどの利用法もできる。例えば、畜園芸用(堆肥・マルチング材)、畜

事務局 山田 務



安全講習会

チップーシュレッダーの取り扱い方

平成19年3月11日(日)

9:30~12:00

富山市ファミリーパーク

自然体験センター研修講義室及び園内竹林

参加者32名



産用(飼料・畜舎の敷材)、食品添加物(竹パウダー)、土木用(舗装資材・遊歩道や森林管理道の敷材)、燃料用(ペレット)などがあり、他にも活用の研究が進んでいる。▼また、挙げた例に活用できなくとも、粉碎したチップを林内に撒いてやることで分解を早めることができ、土壌の改良にもなる。富山市公園緑地課やファミリーパーク内で活動する「市民いきものメイト」が進めている竹林整備の現場では、分解が進むチップの中にカブトムシが産卵し驚くほど沢山の幼虫が育っているが、丸々と太った幼虫はタヌキなどの格好の餌となっている。▼今回の安全講習会は、代表的な2機種(小松ゼノア・大橋鉄工)のチップーシュレッダー(樹木粉碎機)の安全な操作方法、構造と点検方法、労働安全衛生規則、発生した事故例などを学び、今後の作業の効率化や無事故に繋げることを目的として実施しました。

平成19年度の事業計画

▼昨年、各地域で活動した場所をさらに活動拠点となるよう事業展開をするとともに、各作業部会を強化し、連携する中で人づくり、地域づくり、仕組づくりなどを推進していきます。

▼また、事業を推進していくために、行政機関(林野庁、富山県

富山市)と連携した事業展開や各種団体と情報の交換を進めていきます。そして、運営に必要な資金は、各種事業補助金、事業収益、事業委託金、団体助成金などを充てて運営していく予定です。

| | | |
|-------|--|---|
| 森づくり | 各地域の活動拠点づくり ・呉羽丘陵 ・小羽地区(大沢野地域) ・割山森林公園天湖森(細入地域) ・山田KOROりんの森 ・富山国際大学周辺(大山地域) ・婦中ふるさと自然公園 ・八尾中核団地周辺 | 8、9月 9月 11月 6、11月 7、10月 10月 7、11月 |
| 人づくり | 各作業部会と連携リーダーの発掘・養成と技術研修 ・各種資格取得者の発掘 ・林業機械取り扱いの資格取得者養成 ・資格取得者の研修 | |
| 地域づくり | 各地域の既存事業の調査及び研究、事業開発 ・大瀬谷森林文化の郷(婦中地域)と連携事業 | |
| 仕組づくり | 森と街の交流事業の調査及び研究、事業開発 ・整備時に発生した竹木の有効利用を図る ・協力企業・団体との連携した事業の展開 | |
| 情報づくり | ホームページの更新と機関紙の発行 ・情報の適時発信を図る | |
| 組織づくり | 各作業部会の強化、類似団体との交流 ・研修旅行(会員交流とモデル森林の視察) | 10月 |
| 事務局 | 事務局体制の強化 ・事務局ボランティアと連携し、事務処理の向上、活動支援の強化を図る ・会員への情報発信を改善する | |

事務局より

行事のご案内

●平成19年度通常総会開催について

日時:平成19年6月30日(土)14:00~16:00

会場:富山市ファミリーパーク自然体験センターホール

内容:総会(14:00~15:00) 講演会(15:00~16:00)

●KOROりんの森整備について

日時:平成19年6月24日(日)9:30~12:00

場所:富山市山田赤目谷

内容:緑化事業地の草刈

●会員交流とモデル森林の視察(バスツアー)

「日本三大美林赤沢自然休養林を訪ねる」

日時:平成19年10月10日~11日(1泊2日)

行先:長野県上松町小川入国有林

定員:40名(先着申込順とします)

事務局からのお願い

会員の皆様の意向調査を行っております。総会への出欠と併せて、アンケート用紙にご記入のうえ、事務局へ返送してください。今後の事業推進のために、ぜひご協力をお願いします。

ご参加のお申込みは事務局まで

076-434-1316

info@kintaroclub.net